

～華麗なる
鍋さばきの饗宴～

『料理の達人』

燃えさかる炎に、ジュワツと響く爽快な炒め音。料理の真髄ともいべき華麗な鍋さばきを競う『料理の達人』。この新タイプのプライズマシン、キミはもう体験してくれたよね。ノワーズでは当マシンの登場を記念して、『料理の達人』選手権を開催！ 厳しい選考をくぐり抜けた腕に覚えのある強者4名が南夢宮飯店に集結し、真剣勝負を繰り広げた。果たして、名誉ある『料理の達人』の称号は誰の手に!?



写真は開発中の筐体です。

誰が達人?

以下にエントリーした4名のうち、最高得点をゲットし、見事『料理の達人』の地位を射止めた人物は誰か? P.11のハガキにあなたの予想を「料理の達人は 番」と書き込んで応募して下さい。正解者から抽選で5名様に『ノワーズ』特製「カタル君アルバム」をプレゼントします。競技の結果は次号の「ノワーズ・インフォメーション」のページで発表します。



PRESENT!!

1
エントリーNo.

開発者代表
ポチブレイダー



クールなフェイスと強烈なツッコミを武器に、後輩イビリを日々の喜びとするクセ者。一方で、当マシンの開発にあたり、アジアやヨーロッパの有名料理店の厨房に潜り込んで修業を重ねたという影の努力家でもある。競技中は淡々と鍋をふるいつつ、さりげなく裏技を披露して周囲をあっという間に驚かしていた。

2
エントリーNo.

シェフ代表
トール・牧



都内フランス料理店のオーナーシェフ。17歳で渡仏し、5つ星ホテルのメインダイニングで修業。帰国後、滴を持って自らの店をオープンした。最大の武器は、長身から伸びる長い腕とビッグサイズの手。競技中は慣れぬ中華鍋に内心戸惑いながらも、平静を装いつつ意地とプライドで勝負に挑んでいた。

3
エントリーNo.

主婦代表
マダム・ヤン・キー



横浜中華街在住。愛する夫とカワイイ2人の子供のために、毎日スーパーのチラシをチェックしながら、安い食材を駆使してバリエーション豊かな手料理づくりにいそいそしている。しかし、競技中は元ヤンキーの負けず嫌いな性格に火がつき、のほほんとした表情の裏で時折周囲にガンを飛ばす場面も。

4
エントリーNo.

ゲームプレイヤー代表
中村秀太



シューティングゲームをこよなく愛する昔気質のゲーマーで、バックマンを心の師と仰ぐ。バックマン人形を手に全国のプラボを渡り歩いているというウサを聞きつけたノワーズ編集部が目をつけられ今大会にエントリー。競技中はオチャメなパフォーマンスで周囲を油断させつつ、抜群のゲームセンスでゲームプレイヤーの底力を見せつけた。